

# 平成 14 年度東海三県中学校修学旅行委員会実施状況調査報告書

## 平成 14 年度修学旅行実施の状況調査結果の分析と考察

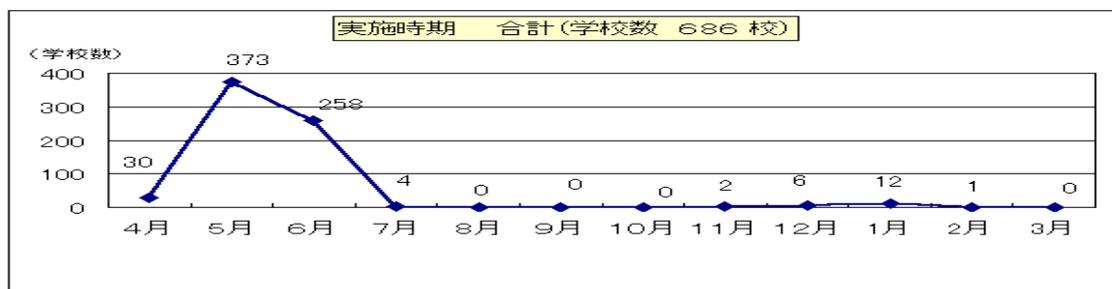
- 1 実施の概況について
- 2 宿泊地
- 3 旅行費用
- 4 修学旅行での体験学習と班別自主研修について
- 5 体験学習の取り組み
- 6 インターネットの活用
- 7 今後の修学旅行の取り組みについて

### 1 実施の概況について

#### (1) 実施時期

実施年度	時期	三重県		愛知県		岐阜県		合 計	
		校数	%	校数	%	校数	%	校数	%
平成 14 年度 (春季)	4月	27	22.9	1	0.3	2	1.3	30	4.5
	5月	73	61.9	194	49.6	106	67.9	373	56.1
	6月	18	15.3	193	49.4	47	30.1	258	38.8
	7月			3	0.8	1	0.6	4	0.6
		118	87.4	391	98.7	156	88.6	665	94.1
(秋季)	8月					2	22.2	2	9.5
	9月	3	30.0	1	50.0	2	22.2	6	28.6
	10月	6	60.0	1	50.0	5	55.6	12	57.1
	11月	1	10.0					1	4.8
	12月								
	1月								
	2月								
	3月								
		10	7.4	2	0.5	9	5.1	21	3.0
回 答 無		7	5.2	3	0.8	11	6.3	21	3.0
合 計		135	100.0	396	100.0	176	100.0	707	100.0

1. 5月を中心に4月から6月の実施が圧倒的に多くなっている(93.5%)
2. 4月に新しい学級編成が出来、学級作りの一環としての修学旅行という方向性が考えられる



## (2) 実施方面

県名	三重県		愛知県		岐阜県		合 計	
	校数	%	校数	%	校数	%	校数	%
東京・横浜・千葉	80	59.3	216	54.5	92	52.3	388	54.9
東京・箱根・富士五湖	17	12.6	87	22.0	2	1.1	106	15.0
東京・伊豆	5	3.7	49	12.4	14	8.0	68	9.6
東京・日光			11	2.8			11	1.6
東京・信州	1	0.7	1	0.3			2	0.3
東京・東北			6	1.5			6	0.8
信州			3	0.8	1	0.6	4	0.6
伊豆			2	0.5	3	1.7	5	0.7
関西			20	5.1			20	2.8
山陽(広島・岡山)	17	12.6			36	20.5	53	7.5
九州	4	3.0			9	5.1	13	1.8
沖縄	6	4.4					6	0.8
その他(海外他)					10	5.7	10	1.4
回答無し	5	3.7	1	0.3	9	5.1	15	2.1
合計	135	100.0	396	100.0	176	100.0	707	100.0

調査内容「10 その他」に記入された方面を宿泊地をもとに、1 から 9 に再分類し新たに広島・岡山、九州、沖縄を設定した。

## 2 宿泊地

(単位：校)

県名		三重県		愛知県		岐阜		合計	
宿泊地		1泊目	2泊目	1泊目	2泊目	1泊目	2泊目	1泊目	2泊目
北海道						1	1		
東北地区	山形			6				6	
	宮城	1	1						
関東地区	栃木			9	1			9	1
	千葉	18	17	106	86	17	6	141	109
	東京	77	64	194	157	85	86	356	307
	神奈川	3	1	11	19	1	4	15	24
	山梨	2	14	27	60	2		31	74
	静岡	3	7	19	48	7	15	29	70
信州	長野			3	4	1	1	4	5
中部	愛知						1		
	三重					1			
関西	滋賀			1	1			1	1
	京都			1	1	2	2	3	3
	大阪		7	5	12	1	13	6	32
	兵庫		8	13	6	1	3	14	17
山陽	岡山	1	1			9	8	10	9
	広島	15	1			24	10	39	11
	山口	1						1	
九州	福岡						1		1
	長崎	4	4			9	7	13	11
	熊本					1	1	1	1
沖縄	沖縄	6	6					6	6
カナダ					1	1			
ベルギー					1	1			
アラスカ							1		
北京						2	2		
船中・機中						2	1	2	1
回答無し		4	4	1	1	8	8	13	13
合計		135	135	396	396	176	173	700	696

### 3 旅行費用

#### (1) 費用の傾向

(単位：校)

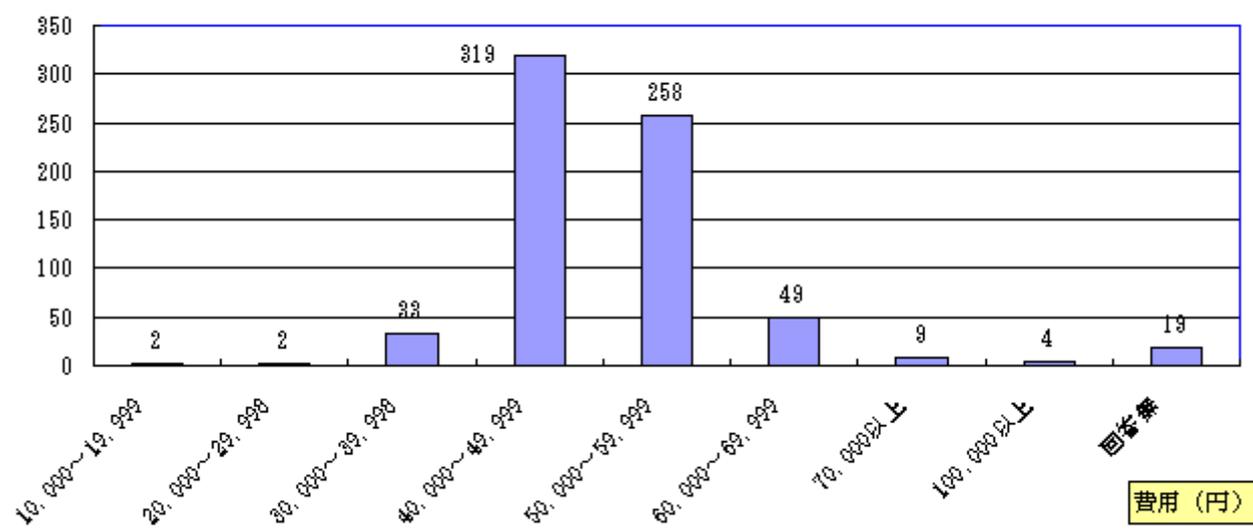
県名 費用	三重県		愛知県		岐阜県		合計	
	校数	%	校数	%	校数	%	校数	%
10,000～19,999	1	0.8			1	0.6	2	0.3
20,000～29,998			1	0.3	1	0.6	2	0.3
30,000～39,998	7	5.3	20	5.1	6	3.6	33	4.7
40,000～49,999	73	55.7	212	53.7	34	20.1	319	45.9
50,000～59,999	41	31.3	142	35.9	75	44.4	258	37.1
60,000～69,999	5	3.8	8	2.0	36	21.3	49	7.1
70,000以上	2	1.5	1	0.3	6	3.6	9	1.3
100,000以上					4	2.4	4	0.6
回答無	2	1.5	11	2.8	6	3.6	19	2.7
合計	131	100.0	395	100.0	169	100.0	695	100.0

#### (2) 旅行方面別費用（最高額・最低額・平均） 数値の単位はすべて（円）

県名	三重県	愛知県	岐阜県	最高額	最低額	平均額
東京・横浜・千葉	58,140	48,931	55,240	80,000	31,400	52,531
東京・箱根・富士五湖	52,956	48,064	49,600	60,500	23,800	48,847
東京・伊豆	58,175	49,039	54,758	67,600	42,300	50,709
東京・日光		50,966		62,000	43,000	51,720
東京・信州	60,000	46,160		60,000	46,140	46,160
東京・東北		58,711		62,000	53,400	58,712
信州		34,363	35,500	36,472	32,815	34,648
伊豆		38,531	34,904	50,000	27,062	36,355
関西・広島・岡山	56,310	44,207	54,343	76,300	19,700	52,025
九州	62,600		65,535	84,900	55,000	64,632
沖縄	68,011			74,700	61,000	68,011
海外・北海道	57,000		116,693	300,000	22,000	116,694
回答無し						
最高額	80,000	70,000	300,000	*	*	*
最低額	23,800	27,062	19,700	*	*	*
平均額	57,857	48,540	58,058	*	*	52,578

学校数

旅行費用の傾向



#### 4 修学旅行での体験学習と班別自主研修について

##### (1) 体験学習の実施状況

県名	三重県		愛知県		岐阜県		合計	
	校数	%	校数	%	校数	%	校数	%
実施	93	68.9	318	80.3	147	83.5	558	78.9
実施しない	37	27.4	77	19.4	19	10.8	133	18.8
回答無し	5	3.7	1	0.3	10	5.7	16	2.3
合計	135	100.0	396	100.0	176	100.0	707	100.0

1. 体験学習を実施している割合は、78.9%。

2. 約 18.8% (133 校) の学校が体験学習を実施していないと回答している。見学や調べ学習などを取り入れているものと思われる。生徒の主体性により修学旅行に特色をもたせ、いろいろな形で実施される傾向が今後も進むと予想される。

##### (2) 班別自主研修の実施状況

(単位：校、%)

県名	三重県		愛知県		岐阜県		合計	
	校数	%	校数	%	校数	%	校数	%
実施	122	90.4	349	88.1	154	87.5	625	88.4
実施しない	8	5.9	44	11.1	12	6.8	64	9.1
回答無し	5	3.7	3	0.8	10	5.7	18	2.5
合計	135	100.0	396	100.0	176	100.0	707	100.0

1. 班別研修についてはほとんどの学校が実施している。

体験学習との組み合わせなどの工夫をし実施がされていると考える。

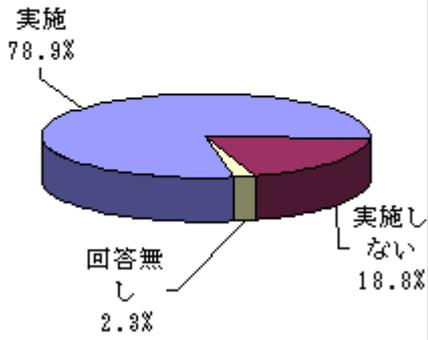
2. 最近の傾向として、生徒に課題をもって修学旅行に臨ませる学校が多くあり、したがって同じ課題を設定した生徒同士による班別も当然含まれているものと思われる。

##### (3) 班別自主研修での利用交通機関 (複数回答)

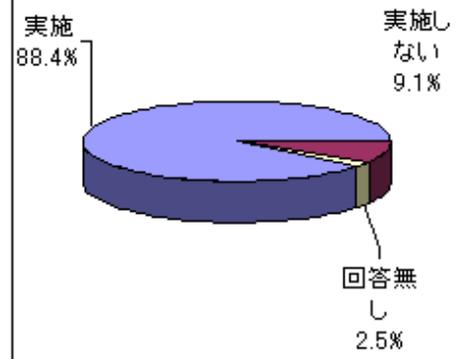
(単位：校、%)

県名	三重県		愛知県		岐阜県		合計	
	校数	%	校数	%	校数	%	校数	%
JR・私鉄	116	45.1	349	44.6	135	36.6	600	42.6
バス	25	9.7	97	12.4	66	17.9	188	13.4
タクシー	2	0.8	11	1.4	15	4.1	28	2.0
徒歩	106	41.2	260	33.2	136	36.9	502	35.7
その他	8	3.1	61	7.8	16	4.3	85	6.0
回答なし	0	0.0	4	0.5	1	0.3	5	0.4
合計	257	100.0	782	100.0	369	100.0	1408	100.0

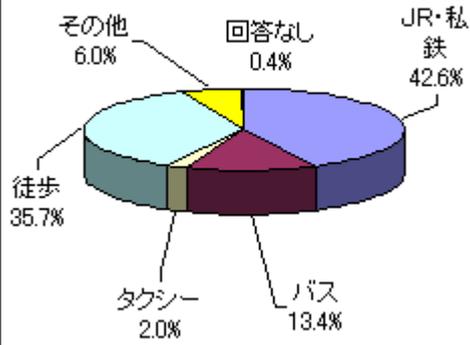
① 体験学習の実施状況



② 班別自主研修の実施状況



③ 班別研修時の交通機関



## 5 体験学習の取り組み

### (1) 学習形態（複数回答：件数で集計）

学習単位	東京・横浜 ・千葉		東京・箱根 ・富士五湖		東京・伊豆		東京・日光		東京・信州		東京・東北	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
学年全体	112	4	16	4	24	8.1			2	14	2	4
学級単位	81	3	18	4	61	20.5			2	14	1	2
班別	2,217	82	233	54	105	35.2			10	71	43	75
個人	298	11	159	37	107	35.9					11	19
その他	10		5		1							
合計	2,718	100	431	99	298	100			14	100	57	100

学習単位	信州		伊豆		関西・岡山広島		九州		沖縄		海外・北海道 ・その他		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
学年全体	1	100	4	19	39	21	12	17	17	44	11	69	240	6.2
学級単位			1	5	37	20	5	7	1	3			207	5.4
班別			12	57	77	41	41	59	19	49	4	25	2,761	71.7
個人			4	19	26	14	11	16	1	3			617	16.0
その他					9				1		1	6	27	0.7
合計	1	100	21	100	188	95	69	100	39	97	16	100	3,852	100.0

その他はいくつかの学習単位の組合せで実施

1. 全体では、71.7%が班別での実施となっているが、学習施設・場所に関係なく班別での体験学習の割合が多い。
2. 体験学習内容の多様化と共に班・少人数での実施が受入施設に関連で増えるものと推測される。

(2) 申込方法（複数回答：件数で集計）

申込み方法	東京・横浜千葉		東京・箱根・富士五湖		東京・伊豆		東京・日光		東京・信州		東京・東北		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
学校	1,007	38	81	19	52	17.3			7	50	1	2	1,264	33.3
生徒	1,359	51	105	24	13	4.3					5	9	1,513	39.9
旅行会社	238	9	244	56	190	63.3			7	50	30	54	875	23.1
その他	65		4		45						20		140	3.7
合計	2,669	98	434	99	300	85			14	100	56	64	3,792	100.0

申込み方法	信州		伊豆		関西・岡山広島		九州		沖縄		海外・北海道・その他		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
学校	1	100	4	22	51	28	33	52	17	44	10	63	1,264	33.3
生徒					25	14	6	10					1,513	39.9
旅行会社			14	78	100	55	24	38	22	56	6	38	875	23.1
その他					6								140	3.7
合計	1	100	18	100	182	97	63	100	39	100	16	100	3,792	100.0

その他はいくつかの申込み方法の組合せで実施

1. 生徒の主体性を生かして、直接受け入れ施設に対して申し込みに取り組む学校が増えているといえるが、教師の支援がどこまで入り込むかが課題である。

(3) 実施の所要時間（複数回答：件数で集計）

所要時間	東京・横浜千葉		東京・箱根・富士五湖		東京・伊豆		東京・日光		東京・信州		東京・東北	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1時間以内	1,225	45	112	26	76	25			1	7	27	53
1.5時間	330	12	28	6	67	22			6	43	3	6
2時間以内	792	29	133	31	78	26			6	43	20	39
3時間以内	175	6	121	28	58	19			1	7		
4時間以内	83	3	24	6	14	5						
6時間以内	37	1	5	1	2	1						
1日	54	2	7	2	3	1					1	2
2日	1	0	5	1	2	1						
3日												
合計	2,697	100	435	100	300	100			14	100	51	100

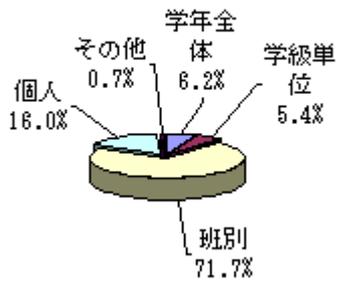
1.

所要時間	信州		伊豆		関西・岡山広島		九州		沖縄		海外他		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1時間以内	1	100	8	50	72	36	13	19	9	23	2	13	1,546	40.3
1.5時間			1	6	27	14	15	22	6	15	1	6	484	12.6
2時間以内			6	38	34	17	14	21	8	21	6	38	1,097	28.6
3時間以内					26	13	16	24	14	36	5	31	416	10.8
4時間以内			1	6	21	11	1	1			1	6	145	3.8
6時間以内					8	4	8	12	1	3	1	6	62	1.6
1日					7	4			1	3			73	1.9
2日					3	2	1	1					12	0.3
3日					1	1							1	0.0
合計	1	100	16	100	199	100	68	100	39	100	16	100	3,836	100.0

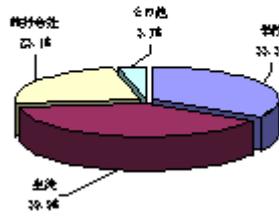
1. 体験学習に当てる時間は体験の内容によって左右されると考えるが、如何に学習効果を高めるかを十分に検討することが重要である。

2. 体験学習にかかる時間は1時間以内が約40%、2時間以内が約40%。全体の80%が2時間以内で体験学習実施となる。

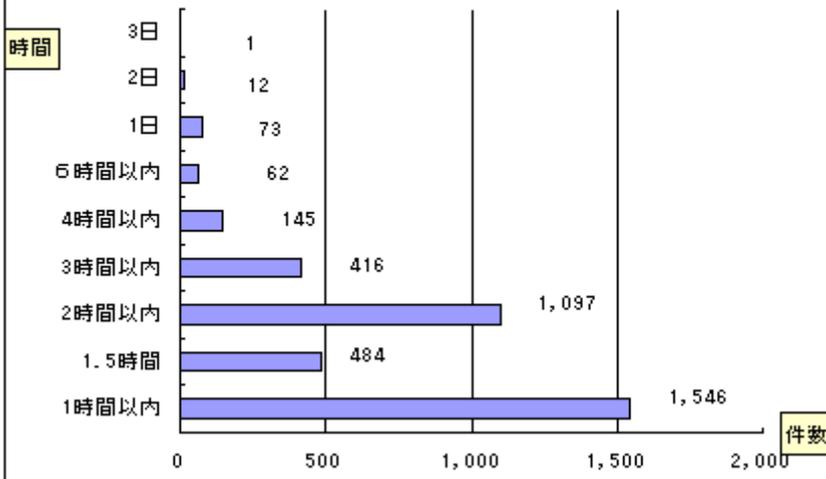
(1) 体験学習の実施形態



(2) 体験学習の申し込み方法



(3) 体験学習の所要時間



(4) 主な体験学習の内容 (複数回答)

1. 集計にあたって

- ・ 工芸、食品など同じような内容のものはまとめて集計した。
- ・ 学校数ではなく、体験学習ごとの件数で集計した。学校単位も班単位も同じ1件とした。

2. 体験した人数の多い割合は、各種工芸 国の機関への訪問 平和学習 (戦争体験の見聞) となる。

3. 各方面別の特徴

- ・ 東京・横浜・千葉方面 : 国の機関・企業等への訪問
- ・ 箱根・富士五湖方面 : オルゴールなどの工芸、蕎麦・パンのどのものづくり、乗馬、サイクリングなどのｽﾎﾟｰﾂ体験が多い
- ・ 伊豆方面 : 漁業体験、ラフティング、フィッシングなどのｽﾎﾟｰﾂ体験
- ・ 信州方面 : 酪農体験
- ・ 岡山・広島方面 : 漁業、ものづくり体験

それぞれの地域の特徴を活かした体験が取組まれている。

4. その他

- ・ 同じ体験場所・施設でも取り組みにより目的・内容が異なっている。

学習内容	方面	東京・横浜 千葉		東京・箱根・ 富士五湖		東京・伊豆		東京・日光		東京・信州		東京・東北		
			%		%		%		%		%		%	
歴史・文化体験	件数	86	3.1	26	6.8	15	5.1			2	16.7	4	7.1	
社寺、建物、美術館など	人数	2,467	6.1	448	3.8	536	4.1			178	27.0	344	19.6	
	社寺・建物・	件数	25	0.9	1	0.3	2	0.7			1	8.3	2	3.6
		人数	920	2.3	95	0.8	64	0.5			173	26.2	133	7.6
	伝統芸能・芸能	件数	10	0.4	4	1.0	1	0.3						
		人数	677	1.7	274	2.3	113	0.9						
	博物館・美術館	件数	42	1.5	20	5.2	9	3.1					1	1.8
		人数	639	1.6	221	1.9	162	1.2					194	11.0
	その他・街	件数	9	0.3	5	1.3	4	1.4			1	8.3	1	1.8
		人数	231	0.6	132	1.1	310	2.3			5	0.8	17	1.0
生活歴史文化	件数	313	11.4	87	22.7	93	31.8			2	16.7	29	51.8	
ものづくり体験	人数	4,320	10.6	3,272	27.7	2,213	16.7			65	9.8	585	33.3	
	伝統工芸 産業	件数	171	6.2	4	1.0	3	1.0					8	14.3
	江戸切子、江戸小紋 など	人数	1,498	3.7	24	0.2	20	0.2					171	9.7
	各種工芸	件数	79	2.9	54	14.1	57	19.5			1	8.3	14	25.0
	木工・ル、ガラス細工 など	人数	1,957	4.8	2,092	17.7	1,212	9.2			29	4.4	230	13.1
	陶芸	件数	2	0.1	4	1.0	16	5.5						
		人数	39	0.1	221	1.9	415	3.1						
	食に関する体験	件数	48	1.7	20	5.2	8	2.7					7	12.5
	パン、	人数	717	1.8	836	7.1	302	2.3					184	10.5
	博物館・美術館	件数	13	0.5	5	1.3	9	3.1			1	0.0		
		人数	109	0.3	99	0.8	264	2.0			36	0.1		
社会体験	件数	324	11.8	26	6.8	10	3.4					1	1.8	
行政・政治	人数	9,025	22.2	1,281	10.8	305	2.3							
	国会	件数	76	2.8	11	2.9	5	1.7					1	1.8
		人数	5,949	14.6	887	7.5	240	1.8						
	政府省庁	件数	109	4.0	3	0.8	2	0.7						
		人数	1,115	2.7	152	1.3	41	0.3						
	裁判所(最高裁他)	件数	29	1.1	4	1.0	1	0.3						
		人数	681	1.7	152	1.3	5	0.0						
	警視庁・消防庁・都 庁など	件数	110	4.0	8	2.1	2	0.7						
		人数	1,280	3.1	90	0.8	19	0.1						
社会体験	件数	889	32.4	48	12.5	47	16.1					2	3.6	
産業	人数	9,584	23.5	1,091	9.2	854	6.5					78	4.4	
企業一般	件数	428	15.6	14	3.7	23	7.9					1	1.8	



		人数	834	2.0	18	0.2						1	0.1	
	企業等	件数	324	11.8	5	1.3	7	2.4				2	3.6	
		人数	1,809	4.4	119	1.0	337	2.5				8	0.5	
社会体験		件数	46	1.7	18	4.7	48	16.4				7	12.5	
生活文化体験		人数	2,906	7.1	1,140	9.7	4,022	30.4				599	34.1	
	漁業	件数	27	1.0	6	1.6	45	15.4						
		人数	2,302	5.7	537	4.5	3,882	29.3						
	農業	件数	12	0.4	2	0.5	3	1.0				7	12.5	
		人数	309	0.8	72	0.6	140	1.1				599	34.1	
	酪農	件数	7	0.3	10	2.6								
		人数	295	0.7	531	4.5								
環境保全共生		件数	90	3.3	2	0.5	1	0.3			2	16.7		
		人数	1,129	2.8	62	0.5	13	0.1			184	27.9		
	自然環境	件数	15	0.5			1	0.3			1	8.3		
		人数	118	0.3			13	0.1			173	26.2		
	生活社会環境	件数	58	2.1	2	0.5					1	8.3		
		人数	787	1.9	62	0.5					11	1.7		
	地球環境	件数	17	0.6										
		人数	224	0.6										
交流体験		件数	6	0.2			1	0.3				2	3.6	
		人数	159	0.4			155	1.2				8	0.5	
	ホ・ムステイ	件数												
		人数												
	学校交流	件数	3	0.1								2	3.6	
		人数	31	0.1								8	0.5	
	人・ふれあい	件数	3	0.1			1	0.3						
		人数	128	0.3			155	1.2						
自然・スポ・ツ体験		件数	54	2.0	154	40.2	58	19.9			1	8.3	3	5.4
		人数	1,474	3.6	4,210	35.6	4,553	34.4			24	3.6	15	0.9
	カヌー・ラフティング	件数	7	0.3	33	8.6	13	4.5						
	いかだ・ボート	人数	167	0.4	883	7.5	2,270	17.2						
	サイクリング	件数	4	0.1	37	9.7	2	0.7						
	グラススキー・トレッキング	人数	56	0.1	1,297	11.0	47	0.4						
	シュノーケリング	件数			1	0.3	12	4.1						
		人数			17	0.1	430	3.3						
	各種スポ・ツ	件数	18	0.7	4	1.0						3	5.4	
		人数	113	0.3	129	1.1						15	0.9	
	パラグライダー	件数	4	0.1	21	0.8	7	0.3						
		人数	119	0.3	484	1.2	143	0.4						

	釣り・フィッシング	件数	15	0.5	35	1.3	16	0.6						
		人数	899	2.2	922	2.3	1,423	3.5						
	乗馬・ゴルフ	件数	6	0.2	23	0.8	8	0.3			1	0.0		
		人数	120	0.3	478	1.2	240	0.6			24	0.1		
合 計		件数	2,745		383		292				12		56	
		人数	40,712		11,810		13,227				660		1,759	

学習内容	方面	信州		伊豆		関西・岡山 広島		九州		沖縄		海外他		合計		
			%		%		%		%		%		%		%	
歴史・文化体験	件数			1	5.6	16	8.4	10	15.2	3	9.4	3	21.4	166	4.4	
社寺・建物・美術館 など	人数			240	21.1	785	5.2	212	7.0	422	26.8	68	17.4	5,700	6.4	
	社寺・建物・	件数				12	6.3	8	12.1	2	6.3	1	7.1	54	1.4	
		人数				765	5.1	147	4.9	280	17.8	40	10.3	2,617	2.9	
	伝統芸能・芸 能	件数					1	0.5			3	9.4			19	0.5
		人数					130	0.9			40	2.5			1,234	1.4
	博物館・美術 館	件数					1	0.5							73	1.9
		人数					13	0.1							1,229	1.4
	その他・街	件数			1	5.6	3	1.6	2	3.0	1	3.1	2	14.3	29	0.8
		人数			240	21.1	7	0.0	65	2.2	142	9.0	28	7.2	1,177	1.3
生活歴史文化	件数			1	5.6	41	21.5	12	18.2	3	9.4	1	7.1	582	15.3	
ものづくり体験	人数			186	16.3	1,868	12.5	235	7.8	59	3.7	7	1.8	12,810	14.3	
	伝統工芸・産 業	件数				10	5.2	3	4.5	1	3.1			200	5.2	
		江戸切子、江 戸小紋など	人数				242.0	242	1.6	64	2.1	8	0.5		2,027	2.3
	各種工芸	件数			1	5.6	7	3.7	7	10.6	1	3.1	1	7.1	222	5.8
	木工・ル、ガラ ス細工など	人数			186	16.3	378	2.5	125	4.1	46	2.9	7	1.8	6,262	7.0
		陶芸	件数				7	3.7	1	1.5					30	0.8
		人数					679	4.5	40	1.3					1,394	1.6
	食に関する体 験	件数					17	8.9	1	1.5	1	3.1			102	2.7
		パン、	人数				569	3.8	6	0.2	5	0.3			2,619	2.9
	博物館・美術 館	件数													28	1.0
		人数													508	1.2
社会体験	件数													361	9.5	
行政・政治	人数													10,611	11.9	

	国会	件数											93	2.4
		人数											7,076	7.9
	政府省庁	件数											114	3.0
		人数											1,308	1.5
	裁判所(最高裁他)	件数											34	0.9
		人数											838	0.9
	警視庁・消防庁・都庁など	件数											120	3.1
		人数											1,389	1.6
社会体験	件数				3	1.6	1	1.5					990	26.0
産業	人数				64	0.4	8	0.3					11,679	13.1
	企業一般	件数			3	1.6	1	1.5					470	12.3
		人数			64	0.4	8	0.3					4,477	5.0
	学校	件数											12	0.3
		人数											31	0.0
	マスコミ・メディア関係	件数											277	7.3
	(NHK・新聞・出版)	人数											4,771	5.3
	公的施設	件数											172	4.5
		人数											1,915	2.1
	博物館・美術館	件数											59	2.1
		人数											485	1.2
社会体験	件数				8	4.2	5	7.6			1	7.1	125	3.3
社会・勤労体験	人数				516	3.4	170	5.6			22	5.6	3,466	3.9
	商業	件数			3	1.6	5	7.6			1	7.1	90	2.4
	売り子・	人数			163	1.1	170	5.6			22	5.6	1,285	1.4
	テ - プルマナ	件数			1	0.5							12	0.3
		人数			5	0.0							1,394	1.6
	その他	件数			4	2.1							23	0.6
		人数			348	2.3							787	0.9
社会体験	件数				15	7.9	2	3.0					139	3.6
ボランティア・福祉	人数				535	3.6	216	7.2					2,344	2.6
	ボランティア	件数			13	6.8	2	3.0					74	1.9
		人数			513	3.4	216	7.2					1,512	1.7
	福祉	件数			2	1.0							65	1.7
		人数			22	0.1							832	0.9
平和学習	件数				63	33.0	20	30.3	14	43.8			148	3.9
平和学習	人数				7,186	48.0	1,244	41.3	798	50.6			9,957	11.1

戦争体験の見聞	件数					56	29.3	20	30.3	12	37.5			101	2.7
	人数					6,397	42.8	1,244	41.3	759	48.1			8,622	9.6
	平和維持	件数				7	3.7			2	6.3			47	1.2
	人数					789	5.3			39	2.5			1,335	1.5
社会体験	件数				2	1.0	3	4.5	1	3.1	1	7.1	249	6.5	
国際社会体験	人数				70	0.5	29	1.0	33	2.1	22	5.6	2,817	3.1	
国際交流	件数					2	1.0	2	3.0	1	3.1	1	7.1	20	0.5
	人数					70	0.5	24	0.8	33	2.1	22	5.6	484	0.5
	国際理解	件数						1	1.5					229	6.0
	人数							5	0.2					2,333	2.6
	(内大使館訪問)	件数												131	3.4
	人数													1,142	1.3
社会体験	件数												465	12.2	
進路選択	人数												3,126	3.5	
学校訪問	件数													127	3.3
	人数													853	1.0
	企業等	件数												338	8.9
	人数													2,273	2.5
社会体験	件数	1	100.0	10	55.6	22	11.5	5	7.6	4	12.5	4	28.6	165	4.3
生活文化体験	人数	193	100.0	614	53.9	2,310	15.4	199	6.6	81	5.1	200	51.3	12,264	13.7
漁業	件数			10	55.6	15	7.9	4	6.1	1	3.1	3	21.4	111	2.9
	人数			614	53.9	1,426	9.5	127	4.2	24	1.5	140	35.9	9,052	10.1
	農業	件数				4	2.1			3	9.4	1	7.1	32	0.8
	人数					651	4.4			57	3.6	60	15.4	1,888	2.1
	酪農	件数	1	100.0			3	1.6	1	1.5				22	0.6
	人数	193	100.0			233	1.6	72	2.4					1,324	1.5
環境保全共生	件数					3	1.6	4	6.1				102	2.7	
	人数					282	1.9	336	11.1				2,006	2.2	
自然環境	件数							1	1.5					18	0.5
	人数							95	3.2					399	0.4
	生活社会環境	件数				1	0.5	1	1.5					63	1.7
	人数					7	0.0	40	1.3					907	1.0
	地球環境	件数				2	1.0	2	3.0					21	0.6
	人数					275	1.8	201	6.7					700	0.8
交流体験	件数			2	11.1	5	2.6			1	3.1	1	7.1	18	0.5
	人数					397	2.7			6	0.4	13	3.3	738	0.8
ホ - ムステイ	件数									1	3.1			1	0.0
	人数									6	0.4			6	0.0
	学校交流	件数				1	0.5					1	7.1	7	0.2

		人数				6	0.0					13	3.3	58	0.1
	人・ふれあい	件数		2	11.1	4	2.1							10	0.3
		人数				391	2.6							674	0.8
自然	スポ - ツ体験	件数		4	22.2	13	6.8	4	6.1	6	18.8	3	21.4	300	7.9
		人数		100	8.8	946	6.3	365	12.1	178	11.3	58	14.9	11,923	13.3
	カヌー・ラフ	件数		1	5.6	5	2.6	2	3.0	1	3.1	1	7.1	63	1.7
	テイング														
	いかだ・ボ-	人数				263	1.8	252	8.4	22	1.4	30	7.7	3,887	4.3
	ト														
	サイクリング	件数										1	7.1	44	1.2
	グラススキ	人数										8	2.1	1,408	1.6
	- ・トレッキ														
	ング														
	シュノケ-リ	件数								5	15.6			18	0.5
	ング														
		人数								156	9.9			603	0.7
	各種スポ - ツ	件数				1	0.5							26	0.7
		人数				78	0.5							335	0.4
	パラグライダー	件数												32	1.2
	-														
		人数												746	1.8
	釣り・フィッ	件数		3	0.1	7	0.3	2	0.1			1	0.0	79	2.9
	シング														
		人数		100	0.2	605	1.5	113	0.3			20	0.0	4,082	10.0
	乗馬・ゴルフ	件数												38	1.4
		人数												862	2.1
合	計	件数	1	18		191		66		32		14		3,810	
		人数	193	1,140		14,959		3,014		1,577		390		89,441	

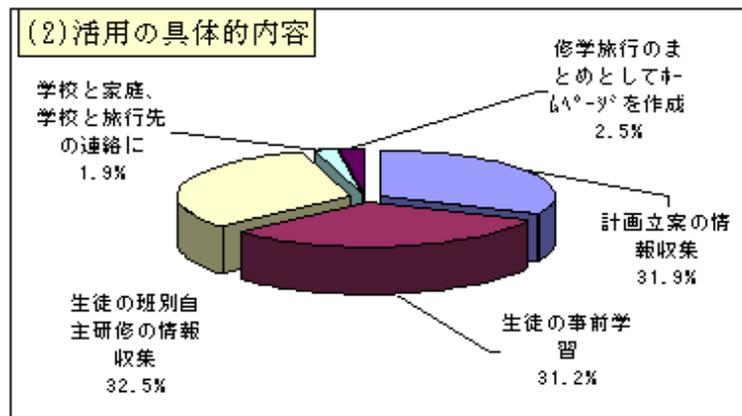
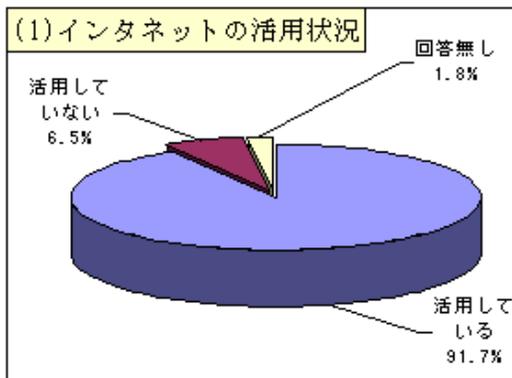
## 6 インターネットの活用

### (1) インターネットの活用状況

県名	三重県		愛知県		岐阜県		合計	
	校数	%	校数	%	校数	%	校数	%
活用している	120	88.9	366	92.4	162	92.0	648	91.7
活用していない	13	9.6	26	6.6	7	4.0	46	6.5
回答無し	2	1.5	4	1.0	7	4.0	13	1.8
合計	135	100.0	396	100.0	176	100.0	707	100.0

### (2) 活用の具体的な内容（複数回答）

県名	三重県		愛知県		岐阜県		合計	
	校数	%	校数	%	校数	%	校数	%
計画立案の情報収集	97	31.4	292	32.7	126	30.4	515	31.9
生徒の事前学習	99	32.0	267	29.9	138	33.3	504	31.2
生徒の班別自主研修の情報収集	98	31.7	298	33.4	129	31.2	525	32.5
学校と家庭、学校と旅行先の連絡に	6	1.9	16	1.8	9	2.2	31	1.9
修学旅行のまとめとしてホームページを作成	9	2.9	20	2.2	12	2.9	41	2.5
合計	309	100.0	893	100.0	414	100.0	1616	100.0

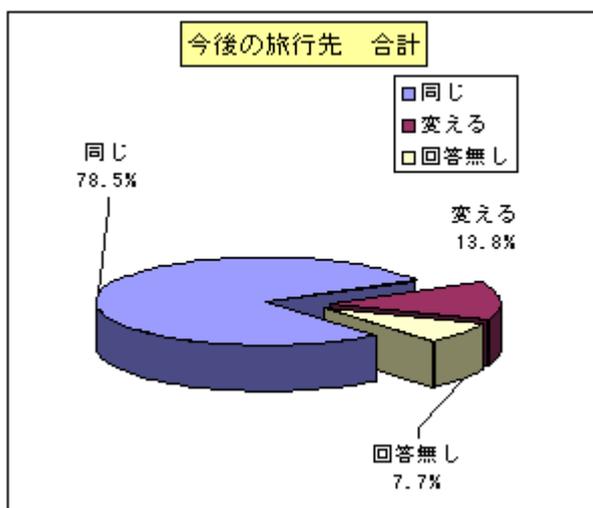
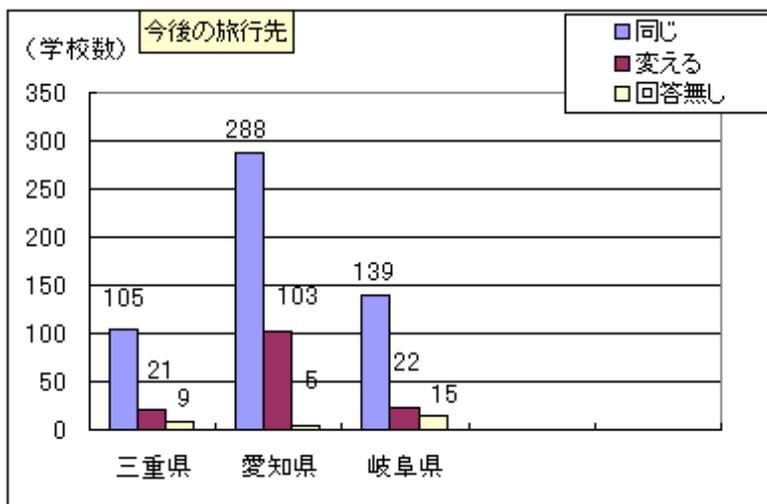


1. 92%近い学校が、インターネットを活用している。2. ほぼ全校がパソコンを設置し、情報教育の振興を、また生徒の主体性を生かした教育活動の展開を強調している現状を鑑みて全ての学校がここ2,3年の内に修学旅行に関する学習等でインターネットが活用されるであろう。3. 「学校と家庭」「学校と旅行先」との連絡に活用連絡に活用するとの回答は、まだ少ないが、今後、確実に増えていくものと思われる。修学旅行中の様子を即時に伝えることのできる利便性を活かし修学旅行の様子を家庭へ送り、安心感とともに家庭での共通の話題づくりなどいろいろな面でアイデアを活かすことができるとと思われる。4. 自分達の修学旅行のまとめ、発表の場としてのホームページを活用する学校も今後多くなっていくものと考えられる。5. 事前学習から実施後のまとめなど修学旅行実施の取り組み全般に活用が期待される。

7 今後の修学旅行の取り組みについて

(1) 旅行先について

県名	三重県		愛知県		岐阜県		合計	
	校数	%	校数	%	校数	%	校数	%
同じ	105	77.8	288	72.7	139	79.0	532	75.2
変える	21	15.6	103	26.0	22	12.5	146	20.7
回答無し	9	6.7	5	1.3	15	8.5	29	4.1
合計	135	100.0	396	100.0	176	100.0	707	100.0



変えると答えた内容を追うと次のようになる。

岐阜県							
現在の旅行先		今後の旅行先（内容）					
東京・横浜・千葉	8校	関西・広島	5校	検討中	2校		
東京・伊豆	3校	東京のみ	2校	富浦	1校	平和学習	1校
伊豆	1校	福井県					
関西・広島・岡山	4校	東京	1校	関西	1校(ボランティア)		
九州		九州		ﾌﾟｰｼﾞｱ	1校	検討中	3校
沖縄	1校	検討中	1校				
三重県							
現在の旅行先		今後の旅行先（内容）					
東京・横浜・千葉	12校	沖縄	5校	検討中	2校	伊豆	1校
		九州	1校	山中湖	1校		
東京・箱根・富士五湖	1校	九州	1校	富浦	1校	平和学習	1校
東京・伊豆	2校	山中湖	1校				
東京・信州	1校	山中湖	2校				
関西・広島・岡山	3校	東京	1校	検討中	2校		
九州	6校	九州	2校	ﾌﾟｰｼﾞｱ	1校	検討中	3校
沖縄	1校	東京	1校				
海外他	1校	検討中					
愛知県							
現在の旅行先		今後の旅行先（内容）					
東京・横浜・千葉	55校	関西方面	15校	検討中	13校	東京・箱根	8校
		東京・伊豆	8校	東京近郊	4校	東京のみ	3校
		信州	2校	伊豆	1校		
東京・箱根・富士五湖	25校	関西方面	5校	検討中	5校	東京・箱根	4校
		東京・伊豆	2校	東京近郊	4校	東京のみ	2校
		信州・黒部	1校	伊豆	1校	東京・日光	1校
東京・伊豆	13校	関西	4校	日光	2校	東京・横浜	2校
		東京・近郊	3校	東京のみ	1校	検討中	1校
東京・日光	1校	伊豆(海の体験)	1校				
東京・東北	1校	関西	1校				
信州	2校	東京都内	2校				
伊豆	1校	伊豆高原	1校				
関西・広島・岡山	3校	東京・伊豆	1校	車山高原	1校	黒部・ｱﾙﾊﾟﾝ	1校

(2) 体験学習の内容について（複数回答）

1. これから実施したい体験学習について、次のようなものがあげられているが、旅行先での人々とのふれあい、テーマをもった体験学習、ボランティア活動、国際交流、歴史文化など内容は多岐にわたっている。

2. 体験学習の受入れについて、見直しの必要性を感じている回答もある。

これから実施したい体験学習の内容

修学旅行先の変更を考えていない学校の回答から	
・	「ボランティア」「環境」「福祉」「国際理解」「平和学習」の中で、テーマに沿った体験学習を取り入れたい。
・	「文化」をテーマとした現在の歴史文化体験や生活文化体験の拡充を図っていきたい。
・	1～3学年の全体を見通し、海の体験、山の体験を実施していく。来年度以降に関して、校内で検討中です。
・	1・2年生が体験学習旅行を行うため、3年生での体験学習はメインにしていない。
・	2年時に山の生活を体験しているので、修学旅行では漁業体験を中心に考えている
・	2年野外学習での体験学習をふまえたうえで考えていきたい
・	3年生の総合的な学習の時間の国際理解に関わる機関の訪問を引き続き進めていきたい
・	クラス全体で取り組めるもの(カヌー作りなど)
・	これまでの漁村体験
・	その行き先でしかできない体験学習を考え、取り入れていきたい
・	なるべく総合学習との関わりを持たせていきたい。
・	バーチャルでない体験(本物の体験)を重視したい
・	パラグライダーや熱気球など、この地域では体験できないような、思い出に残る体験を取り入れたい
・	びわ湖自然体験学習(BSC)
・	ペンションでの体験学習
・	ボランティア的な活動
・	より小集団での体験学習や聞きとり調査
・	より総合学習との結びつきの深い体験学習(長い時間の)
・	安全で意味のあるもの、今はあまりない。
・	伊豆高原という場所柄を考えると自然とふれ合える内容を増やしていきたい
・	一般社会・職場体験または生活文化体験
・	印象に残るもので、中国らしいもの
・	引きつづき平和学習の一環として被爆体験講話、原爆資料館、平和公園の碑めぐり、原爆遺跡等の見学
・	雨天でも活動が可能な内容
・	沖縄の自然、文化、環境の体験に加え、交流の図れるもの
・	下田・須崎の民宿での体験学習を今後も発展・充実させていきたい
・	海の体験でバラエティーのあるもの
・	海洋スポーツ
・	外国の方との交流
・	学校にいては、とても体験できないような自然の中での体験
・	学校交流等を考えていきたい。

・	官公庁見学・創作
・	環境について調査する。ゴミ処理や企業の対策について
・	企業訪問、生徒による自主的な社会体験学習
・	基本的には生徒の自主性にまかせたい
・	岐阜県で体験できない自然などにふれさせたい
・	漁村での体験(今までと同じ)
・	漁村体験のみでなく、幅広い自然体験
・	漁村体験学習は生徒の印象に残ったようなので、自然体験的な学習を望んでいる
・	教科・総合的な学習とからめた体験学習
・	勤労体験、人との交流体験を中心に考えたい
・	勤労体験・海岸清掃ボランティア
・	具体的な課題をもって聞き取り調査、見学活動をする
・	具体的には思いつかないが、名古屋ではなかなか体験できないもの
・	経済社会の仕組みを学習するセミナーか体験型の町工場での物づくり
・	見学だけでなく戦争体験をした人の講話を取り入れたい
・	見学や話を聞くだけでなく、作業的なものも多く取り入れたい
・	現在、総合の学習の体験学習として位置づけているので調査活動が中心。取り入れたいのは、介護体験、盲導犬訓練等。
・	現在は見学中心のため、今後の検討課題
・	現在以上の体験学習は不可能と考えている
・	現時点では体験学習については考えていません
・	現地の人々との交流、職場体験
・	広島市の語り部さんの語りを聞き、質問しながらの碑巡りはつづけていきたい。
・	江戸下町職人芸伝統工芸体験学習
・	国会議事堂のような普段の生活では経験できないような内容を取り入れていきたい
・	今後の検討課題であるが、来年は予定していない。
・	今後の体験内容には、本年度の取り組んだ結果を参考にして精選していく方向で考えていく予定である。
・	今後は環境保全共生体験、平和学習、国際社会体験を取り入れたい
・	今後も、今年度同様、自然体験・社会体験を実施していきたい。
・	今日実施した課題解決のための班別行動や自然の中で行える体験活動
・	今年はいじめて実施したが、反省を生かし考えたいと思っています
・	今年度、障害者の方との新宿の待ちを歩くバリアフリー体験は良かったので来年も続けたいと考える。
・	今年度カステラづくりの体験学習をしましたが、受け入れ先の指導者が少なく見学している場面が多かったので全員実習できる内容を取り入れたいです。
・	山間の学校であるため、海での活動を取り入れ人々の暮らしについてもふれあいの場をつくっていきたい
・	産業、国際交流、平和学習等テーマ性があるもの
・	産業、文化、歴史、自然との触れあい

・	事前学習での課題解決に結びつく学習
・	時間的な制約があり、これ以上の体験学習を取り入れることは不可能
・	自分の存在が認識でき、「生き方」を学ぶきっかけとなる人とのかかわりがもてるもの
・	首都の特色、機能に十分ふれることができる体験
・	収容先があれば体験も考えたい
・	修学旅行から宿泊研修へ移行したため、従来のディズニーランドは本年度からやめ、企業や施設などの訪問を行い、見聞を広くひろめたい
・	従来通り見学やインタビューを中心としたい
・	少人数で伊豆の民宿に宿泊するため、民宿ごとに地元の方々とのふれあいのある体験を取り入れたい。
・	少人数で体験できるものがない。生徒ひとりひとり充分体験にひたらせない。今年度も大阪で予定はしたが学級単位でしか受け入れできず断念。大阪らしさを体験させたかった。
・	情報収集から情報発信の学習としたいと考えている
・	進路学習の一環として、未来への課題に取り組んでいる仕事場(職場)を訪問する。
・	進路選択体験、国際社会体験
・	政治・経済の中心である東京が実感できる施設見学や体験
・	生徒の要求による
・	接客の方法・マナー
・	戦争体験だけでなく、平和維持活動やボランティア活動の機会をふやしていきたい。
・	体験内容をもう少し限定して、多くの生徒が同時に活動できる方向で考えたい。例えば1学級全体が同一体験をする等。
・	田舎では見られないような、文楽・能など見せてやりたい
・	都会では体験できないことや個人参加で体験がむずかしいことを修学旅行に取り入れたい
・	農作業等、裁判を実施しているところ
・	買い物中心の自主研修ではなく真に学習の場としての班別行動・体験学習としたい。本年度実施したところは良かった。
・	班別テーマ学習
・	班別テーマ別学習
・	班別研修を行う(目的別班編成)
・	班別自主研修の充実
・	費用のあまりかからない体験を考えたい
・	富士山の植樹体験
・	福祉・ボランティア体験を加えていけたらよいと思います。
・	福祉体験・ボランティア・国際交流・職場体験・農村体験
・	物作りが出来る内容、又はその場所でしかできない内容
・	分宿
・	平和学習(総合的な学習)のまとめとしての旅行であることから、諸施設訪問や体験者とのふれあいができる活動をより多く取り入れたい
・	平和学習、防災学習、歴史・文化遺産体験
・	米沢市の各中学校との交流体験を将来的には取り入れたいと思います

・	訪問先の中学校との交流
・	本校は人権等に関わる聞きとり学習を中心に行っているため、体験学習の予定はありません
・	民宿体験の中で学年や学級単位での活動を取り入れたい
・	民宿地での交流体験
・	名古屋市内では体験できないような内容
・	班や学級集団を母体とした活動
・	被爆体験談
修学旅行先の変更を考えている学校の回答	
	1・2年の総合学習の発展として、晴雨にかかわらずしっかり体験できる内容
	2年生で自然環境(海)を学び、修旅で東京の中身を充実
	3年間を見通した上で、旅行先を決め、その地域に特徴的な事や一般社会、地域と触れ合えるような事で学習させたい。
	クラフト体験
	シュノーケリング、ホームビジット、カヌー、紅型・藍染、琉球料理、シーカヤック、ガマ体験
	その地方で生活をしている人たちの生き方に触れる活動
	その土地ならではの体験内容・施設・生き方学習ができる内容
	パラグライダー、カヌー、乗馬、酪農体験、樹海体験、富士山トレッキング
	ペンションでの体験学習
	ホームステイ
	伊豆...地引網、櫓漕ぎ、ひもの作り、カナディアンカヌー等体験。山中湖...牧場、酪農、作業体験。
	伊豆のペンションでの体験学習を取り入れます
	一般社会・職場体験
	園芸農業体験学習
	課題追究のための調査研究活動を行う
	海・山に関する自然・スポーツ体験
	企業・施設への取材訪問、現地の人々との交流、進路体験など
	基本的には本年度と同じ
	交流体験ができればと考えているが、相手校の事情などがあり実現はなかなか困難である。
	広島、長崎、原爆体験、平和NGOとの懇談等
	国際社会体験、生活文化体験、自然・スポーツ体験
	国際理解やボランティアなど
	子どもたちが住む地域ではなかなか体験できない内容を
	自然(動植物)に触れあうような内容
	自然・スポーツ体験、生活文化体験、自然環境体験
	自然から学び、自然と上手につき合う方法を地元の方に気軽に教えていただくようなふれあい学習
	自然体験、学校間交流
	自然体験・職業体験

	自然体験を多く取り入れることと、歴史文化についても総合学習で事前に学習した内容を実際に見てくるようにしたい。
	社会経験の場としてとらえ検討したい
	社会体験：行政・政治、産業等
	取り入れない
	修学旅行でしか体験できないような事、場所を中心に考えたい
	小規模、小集団で取り組める内容
	職場体験、総合学習にかかわる体験
	進路学習にかかわる内容にしていきたい
	震災学習・防災学習
	人間的な温かみや自然の素晴らしさに触れることができるもの。生きる姿に情熱や夢を感じることができるもの。自分の今の生き方を見つめ直すことができるもの。自分たちの活動に充実感や発見の喜びが感じられるもの。生活をきり拓いてきた重みがあるもの。社会的な役割を果たしているもの(果たすことができる)など。
	総合的な学習をうまくからめていければと考えている
	体験によりいろいろな人と知り合い、見聞が深められるもの
	地元の人たちとの交流を深められる体験学習
	天候に影響されない体験学習
	伝統的文化体験
	東京都内での活動にこだわらず、他の場所に移し、修学旅行でしか体験できない内容を考えていきたい
	日本一に関するもの体験
	箱根における博物館めぐりを班別の自主活動として行う予定
	幅広い体験的学習と全体集団的行動
	福祉ボランティア、平和学習
	平和学習(広島原爆体験)、歴史文化遺産体験
	平和学習、自然・スポーツ体験
	報道関係の仕事(新聞社・TV局など)・ほうそう・発送関係の仕事(食品加工KKなど)・工芸品やみやげ品などの作成、販売の仕事
	本校が山にあるという点から、海での体験、あるいは修学旅行でしかできない体験学習の内容
	本年度と同様に行きたい
	本年度の学習に加え、民宿・漁村の方々との交流にも力を入れたい。
	名古屋(都会)では経験できないこと。
	歴史文化体験、社会体験、環境保全共生体験、自然・スポーツ体験